

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representation of
The original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**



実用新案登録願

昭和 53 年 07 月 19 日

4000円

特許庁長官 熊谷 善二 殿

1. 考案の名称 ケンチクヨウカクドウリダシキ 建築用角度割り出し器

2. 考案者

フリガナ
住所
フリガナ
氏名

出願人に同じ

3. 実用新案登録出願人

フリガナ
住所
フリガナ
氏名
(国一籍)

フキアイククセチバレトオリ

神戸市葺合区熊内橋通 2 丁目 2 番 13 号

タハラ キユウヘイ

田原 久平

4. 代理人 〒 650

住所 神戸市生田区相生町 1 丁目 2 の 1

電話 078(078) 341-4890

氏名 弁理士 吉 川 秀 夫

5. 添付書類の目録

(1) 明 細	書 面	1	通
(2) 図	書 面	1	通
(3) 願 書 副 本	書 面	1	通
(4) 委 任 状	書 面	1	通
(5) 出願審査請求書	書 面	1	通

53 083821-54-104183

明 細 書

1. 考案の名称 建築用角度割り出し器

2. 実用新案登録請求の範囲

中央に案内孔(2)を縦設した主杆(1)の上端に設けた軸(3)には、1対の開閉杆(4)(4')の1端を枢着し、開閉杆(4)(4')の軸(3)から等距離の位置にそれぞれ設けた軸(5)(5')には、同寸の支杆(6)(6')の1端を枢着し、支杆(6)(6')の他端は前記案内孔(2)に遊嵌した蝶ナット(7)のボルト(8)に枢着し、案内孔(2)の両側には、こうばい目盛(9)と正多角形の頂角を示す角度目盛(10)を設けたことを特長とする建築用角度割り出し器。

3. 考案の詳細な説明

本考案は建築や工作の主として現場作業に於て使用される小形軽量の建築用角度割り出し器に係る。

建築や工作の現場施行等に於ては、大型の凶面やゲージを持ち込み得ないのが普通であるから、寸法や角度の正角な測定が困難であり、そのため施行者が現場で現寸又は縮小モデルを作成してこ

54-18413

れに合う方法が1部で採用されているが、モデルの作成に手間がかかり能率が悪く、これを省略した場合は正確さを欠いて、特に角度の場合狂いが著しく、簡単且つ正確に必要な角度を割り出し得る小形軽量をゲージの出現が待望されている。

本考案は上記要望に応えるものであって、中央に案内孔(2)を縦設した主杆(1)の上端に設けた軸(3)には、1対の開閉杆(4)(4')の1端を枢着し、開閉杆(4)(4')の軸(3)から等距離の位置にそれぞれ設けた軸(5)(5')には、同寸の支杆(6)(6')の1端を枢着し、支杆(6)(6')の他端は前記案内孔(2)に遊嵌した蝶ナット(7)のボルト(8)に枢着し、案内孔(2)の両面には、こうばい目盛(9)と正多角形の頂角を示す角度目盛(10)を設けたことを特長とする建築用角度割り出し器に係り、その目的とするところは角度の割り出しが簡単且つ正確で小形軽量を建築用角度割り出し器を安価に提供するにある。

本考案の実施例を図面につき詳細に説明すれば、(1)は主杆であって把手を兼ね、中心には案内孔

(2) が縦設せられ、この孔 (2) には蝶ナット (7) のボルト (8) が遊嵌され、案内孔 (2) の両側にはこうばい目盛 (9) と角度目盛 (10) が刻まれる。開閉杆 (4) (4') は主杆 (1) の頂部軸 (3) に一端を枢着し、軸 (5) (5') に於て支杆 (6) (6') に支えられ、支杆 (6) (6') の他端は前記ボルト (8) に枢着し、蝶ナット (7) をゆるめ、ボルト (8) を案内孔 (2) に沿いスライドさせることにより、支杆 (6) (6') を介して開閉杆 (4) (4') が相互に開閉するものであり、案内孔 (2) に線引した中心線に直交する面に対し、開閉杆 (4) (4') がそれぞれ所要のこうばいを示すと同時に両杆相互により所要の傾板こうばいを示し、また軸 (3) を中心とする開閉杆 (4) (4') 相互の角度が所要の正多角形の頂角を示すものである。

而してこうばい目盛 (9) に刻まれたる乃至 6 の数字は 3 寸こうばい乃至 6 寸こうばいを意味し、角度目盛に刻まれたる 3 乃至 10 の数字は正 3 角形乃至正 10 角形の頂角を意味するものであり、これら目盛 (9) (10) にボルト (8) 中心を合せ、蝶ナット (7) を締めると、開閉杆 (4) (4') が主杆 (1) に固定されて、これら両杆と案内孔 (2) に線引きした中心線により、

所要のこうばい又は所要の正多角形の頂角が簡単且つ正確に得られるものである。

尚主杆(1)に縦設された案内孔(2)は、予め削り出すべき角度の中心線が定められている場合は、孔中心に中心線を合致せしめて、開閉杆(4)(4)により所要の角度を選択すればよく、また削り出すべき角度の一方が確定している場合、開閉杆(4)(4)の一方をこれに合せて、所要の角度を選定すると同時に、案内孔(2)中心に鉛筆、竹筆等で線引きすれば、中心線が簡単に得られるものであり、更に自から中心線を定めて角度を削り出す場合も、前記線引きを予め行った後角度を削り出せばよく、精度の高い角度の削り出しが容易になし得る便がある。

以上の如く本考案は全長僅か300mm内外の極めて短寸軽量で取扱い容易であり、その操作も器体先端を所定位置、例えばこうばい切ずみに当て、蝶ナット(7)をゆるめてボルト(8)をスライドさせ、ボルト(8)中心を所要のこうばい目盛(9)又は角度目盛(10)に合致させ、蝶ナット(7)を締めてボルト(8)

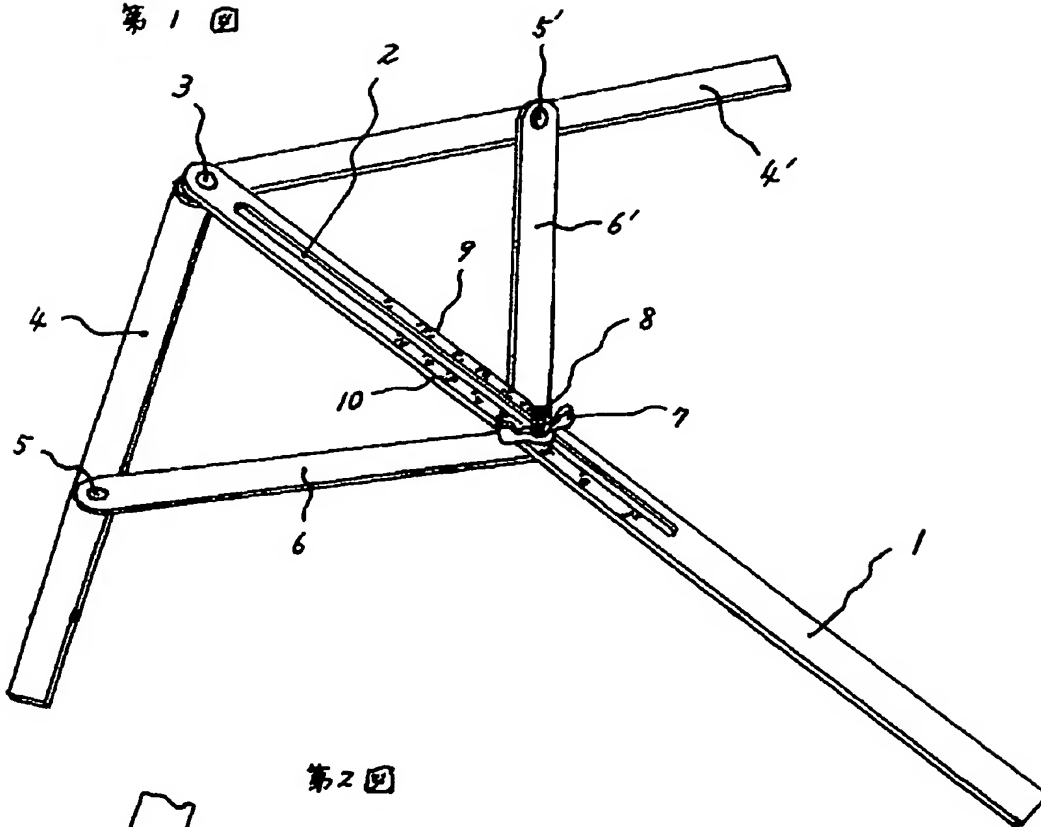
を固定すれば、開閉杆(4)(4)及び中心線により所要のこうばい角又は正多角形の頂角が正確に割り出されるものであり、中心線も簡単に割り出すことも可能となり、従来大型の図面やゲージなしにはややもすれば正確さを欠きがちであった屋根こうばいの拌み切ずみ、笠木幅返しずみ、多角形切ずみ等各種こうばいや各種正多角形頂角が簡単且つ正確に得られる利点があり、然も極めて安価に提供し得るから、建築業界に利するところ多大なるものがある。

4. 図面の簡単な説明

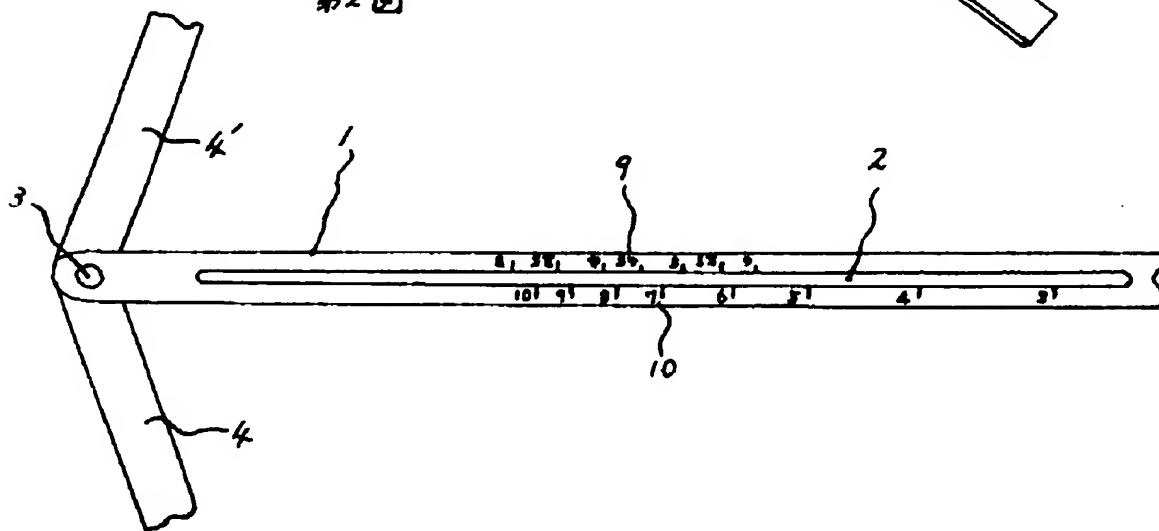
図面は本考案の実施例を示すものであって、第1図は本考案の斜視図、第2図は主杆(1)の部分拡大図である。

出願人 出原 久平
代理人 弁理士 吉川 秀夫

第 1 図



第 2 図



184163

出願人 田 原 久 平

代理人 青 理 士 吉 川 秀 夫

